

式 辞

校庭の桜の木々は、今日の入学式を待ちきれず、数日前に満開を迎え、今年度は、一部が本校のカラーである緑色の葉桜となり、地面にはピンクの花びらの絨毯を敷き詰めて皆さんを歓迎しています。

本日ここに、PTA会長 村本暢之 様、一泉同窓会長 中村太郎 様をはじめ、多数のご来賓の皆さま、並びに保護者・ご家族の皆様のご臨席を賜り、令和八年度石川県立金沢泉丘高等学校入学式を挙げていただけますことは、私ども教職員一同にとりまして、この上ない喜びであります。

ただ今、入学を許可しました四百名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。心から歓迎いたします。また、ご列席の保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。愛情を持って、大切に育ててこられたお子様の、凛々しい晴れ姿をご覧になり、喜びもひとしおのことと存じます。心よりお祝い申し上げます。

ご承知のとおり、本校は、明治二十六年の創立以来百三十三年目を迎える伝統校であり、金沢地区はもとより県内各地から高い志を持った生徒が集まっています。

今日から皆さんは、この伝統ある金沢泉丘高等学校の一員としての新たな一步を踏み出しました。期待に胸を膨らませている人もいれば、少し不安を感じている人もいることでしょう。しかし、新しい世界に向かうときに抱く緊張や戸惑いは、成長への入り口でもあります。

これから始まる高校生活では、学びの中で自ら考える力を養い、多くの出会いを通して人としての幅を広げていくことになります。順調なときばかりでなく、思うようにいかないこともあるでしょう。けれども、そのような経験の中でこそ、自分を見つめ、鍛え、次の一步を見いだすことができます。

どうか、自らの可能性を狭めることなく、志を持って日々を過ごしてください。そして、自分を大切にすると同じように、周囲の人への敬意と思いやりを忘れないでください。互いを尊重し合う姿勢が、学校をより豊かな学びの場にしていきます。

春に芽吹いた若葉が、やがて力強く枝を広げていくように、皆さん一人一人がこの三年間で大きく成長されることを心より願っています。

さて、新入生の皆さん、ここまでの私の式辞はいかがでしたでしょうか。実は、後半部分は、すべてチャット GPT が作成したものです。「金沢泉丘高校の入学式の式辞を作成してください」と打ち込んだら、あっという間に作ってくれました。

すごい時代になったものです。皆さんが生きていくこれからの未来は、間違いなく、私たちの想像を遙かに超えた世界になっていきます。楽しみでもありますが、自分とは、人間とは何なのかを常に考えさせられることが多くなっていくような気がします。だからこそ、本校で過ごす三年間で自分としっかり向き合い、自分の生き方の核となるものを身につけてください。

チャッピーのような当たり障りのない形式的な言葉ではなく、拙くてもいいから、自分の言葉で自分の思いを熱く語ることでできる人間になってほしいと思います。

それでは、ここからは、拙いですが、自分の言葉で、自分の思いを皆さんに伝えます。

私は本校の卒業生です。自分で言うのも何ですが、中学校では成績が上位で、部活動でもキャプテンを務め、自信を持ってこの学校に入学しました。しかし、いざ、学校が始まると私なんかよりずっと勉強も部活動もできる生徒がたくさんいて、どれだけ頑張っても成績は伸びず、部活動でもレギュラーになることができず、最初のうちは、悶々とした日々を過ごしていました。

そんなあるとき、数学の時間に、隣に座っていた友達（現役で東大に入学した友達）が、「高倉、そんなきれいにノート作っていたら、勉強の時間足りんやろ？」って言うのです。確かにその友達はあまりノートには書かず、数学の問題集の問題番号に○と×をつけて、「○の問題は、頭の中で解く方針は立っているし、100%解けるからノートには書かないで、×の問題だけをじっくり考えて、ノートに納得いくまで書くんや」と言いました。

そして、「高倉は簡単に解ける問題までそんなきれいにノートに書いて、何か意味があるん？」で。もう、目から鱗でした。ぱっと目の前が開けました。それからは、その友達のやり方をまねたことによって、時間に余裕が生まれ、わからない問題にじっくり時間をかけることができるようになり、少しずつですが、成績も上がり、自分に自信を持つことができるようになりました。

そうなるやうに、学校に行くのが楽しくて、勉強だけでなく、部活動や学校行事にも積極的に参加するようになり、たくさんの素晴らしい友達もできて、本当に充実したかけがえのない高校生活を送ることができました。

これから皆さんも、私と同じように、この学校で、壁にぶち当たることがあるかもしれません。壁にぶち当たるということは、それまでのやり方がうまくいかなくなってきたということです。それなのに同じやり方にこだわって、「こんなはずではない」と自分を追いつめるようなことはやめてください。

自分の殻を打ち破るチャンスなのです。周りには素晴らしい友達や先生がたくさんいます。素直に謙虚な気持ちで人の話を聞き、多くの学びの中から自分に合ったスタイルを見つけ出してください。挑戦を恐れることなく、まだ見たことのない未見の我との出会いを楽しみ、この泉丘高校での三年間、そしてその後の人生を豊かなものにしてほしいと願っています。

数多くある県内の高校の中から、この金沢泉丘高校を選び、夢を持って入学した皆さん、素敵な三年間にしましょう。私たちと一緒に青春しましょう。

保護者の皆様、お子様のこれからの三年間は、まさに自立への歩みであります。時には温かく、時には厳しく見守っていただきたいと思います。入学した皆さんの三年間が充実したものとなるよう職員一丸となって取り組むこととお約束いたします。何とぞ本校の教育方針をご理解いただき、教育活動にご支援ご協力を賜りますとともに、よりよい学校を創っていくパートナーとして、手を携えてくださいますようお願い申し上げます。

結びに、ご多用にもかかわらず、本日の入学式にご臨席を賜りましたご来賓はじめ関係の皆様方に、厚くお礼申し上げますとともに、今後ますますのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます、式辞といたします。

令和八年四月八日

石川県立金沢泉丘高等学校長

高倉 英明